

令和6年度 第3回千代田区男女共同参画センター運営協議会 議事要旨

〈日 時〉 令和7年3月5日(水) 18:30~20:00

〈場 所〉 千代田区役所 10 階 男女共同参画センターMIW 交流サロン

〈出席者〉 委員:鈴木会長、深野副会長、清水委員、大塚委員、渡辺委員(オンライン)、
近田委員(オンライン)

事務局:国際平和・男女平等 인권課、男女共同参画センターMIW

〈配布資料〉 資料1 令和6年度 MIW 事業報告

資料2 MIW 事業実績(11月28日~2月28日)

資料3 令和6年度利用状況(前年度比)

別紙1 令和6年度実施結果及び進捗報告(2月28日現在)

別紙2 令和6年度 事業計画一覧表

別紙3 令和6年度 MIW 講座利用者アンケート集計結果(一部抜粋)

別紙4 令和6年度情報ライブラリ資料選定委員会選定計画

参考資料1 一般相談統計(2024年4月~2025年1月)

参考資料2 法律相談統計(2024年4月~2025年1月)

参考資料3 LGBTQ 相談統計(2024年4月~2025年1月)

〈議 題〉

1 令和6年度 MIW 事業報告 ⇒ 資料1~3、別紙1~3を参照。

【相談機能】

(今年度の報告)

(1) 一般相談事業の日程を利用者のニーズが多い日時に変更。(土曜日毎週⇒隔週へ)

(2) グループ相談の新規開始(対象者を限定)年3回。

⇒令和6年度は3件実施済。似た境遇の相談者同士エンパワーメントしあえる場になっている。
グループ相談実施後にアドバイザーと相談員の振り返りの場を設けているため、相談員のスキル向上等にもつながっている。

・専門家相談の試行実施(令和7年度実施に向け、11月7日(木)に実施済)

(3) 広報・周知活動及び関係機関との連携を強化

・SNS(Facebook/Instagram)上で当日の予約状況を周知。

・区内学校施設等、延べ 311 件 の連携を実施。

(※連携内容：MIW の相談事業周知のためのアウトリーチ及び相談内容等に関するコンサルテーション、並びに出前講座のご案内等、協力全般)

○一般相談・・・件数 293 件で、前年度比 1.2 倍に(前年度 244 件)。

○法律相談・・・件数 17 件で、前年度比 3.4 倍に(前年度 5 件)。

稼働率も 16.7%⇒85.0%に増加

○LGBTQ 相談・・・件数 40 件で、前年度比 1.7 倍に(前年度 24 件)。

稼働率も 40.0%⇒66.7%に増加。

(次年度へ向けて)

①ご利用状況とニーズに合わせて相談時間を見直し。「グループ相談」「専門家相談」は継続。

・火曜日夜間時間帯の相談枠を廃止⇒平日昼時間帯(12:00~12:50)の相談枠を新設。

② 区内他機関との連携ネットワークを強化・拡充。MIW の他機能とも連携して広報・周知を展開。

【学習・情報機能】

(今年度の報告)

(1) MIW 講座の参加者数及び満足度等が向上。若年層、男性等従来よりも多様な属性の参加率についても増加傾向。

(2) 情報ライブラリ機能との連動について充実。

(3) 区内在住・在勤・在学者参加率向上のための周知・ニーズ把握/効果的な広報について工夫。

(次年度に向けて)

・引き続き、興味をもってもらえるようなテーマ・仕組みを考えていく。

・子育て中の男性に向けて、継続的な参加を見込めるような交流の場を模索する。

・他施設との連携企画をさらに増やすことで、新たなニーズ把握や周知の場につなげる。

・区内中・高校・大学に向けて、定期的に相談コーディネーターとともに定期的に訪問し、ニーズの把握と出前講座の実施につなげる。

・出前先・出前内容によっては、実施後 MIW の公式 YouTube で動画(全体もしくはダイジェスト)を公開し、ホームページに掲載することによって出前講座の案内にもつなげる。

・事後アンケートを活用し、MIW のイベント案内(メールマガジン)の登録の可否を☒欄を設け、登録者を増やし、継続して参加してもらう取組を検討する。

【支援・交流機能】

(1) 第 12 回 MIW 祭りの実施

⇒実施報告動画を MIW 公式 YouTube 上にて公開中。

(2) 交流サロンを利用しやすくするため実施している取組み

⇒利用者アンケートの実施、交流サロン内の図書展示、入り口にカフェ看板の設置、サロン内にモ

ニターの設置等。

(3) アウトリーチでのニーズ把握・各種支援の強化。

(事業計画説明を受けての質疑応答、ご意見など)

【相談機能】

Q グループ相談について、シングルマザー、プレシングルマザー向けとのことだが、シングルファザーなどの需要はあるのでしょうか？男性は相談機関への声をあげづらい部分もあるので、考慮してほしいです。

A 男性の相談自体はありますが、件数的には女性が多く、グループ相談が一般相談者の中から声掛けしていることもあり、拾い切れていないのが現状です。

シングルファザーに対してどのようにアプローチしていくべきか、という点も含めて来年度検討していきたいと思います。

Q 相談の中身(内容)について、時代の変遷とともに変化しているかと思うので、相談内容を分類するなど工夫し、そうした変化が把握できるようにしてほしいです。

A いただいたご意見を参考に、次年度以降の報告の際に実現できるよう検討します。

Q MIW と区内各所の相談場所とのつながりを活かして、相談所の支援分布マップなどがあると、必要な人への支援につながるのではないかと思います。まずは知ってもらうことが重要だと思います。あくまで、MIW が中心ということにはなるとはありますが、相談の周知について改めて考えていただきたいです。

A MIW の講座の中でも相談機能と関連、連携したものを実施しています。また、HP・SNS 等でも相談について周知を行っていますが、その HP や SNS にたどり着くまでのハードルが高いと MIW スタッフや相談チームも感じています。必要としている人に伝わるような周知方法について、改めて方法を考えたいと思います。

Q 相談のフォーマットについて、現在は対面＆電話のみですが、メールやオンライン等の形態について実施予定はありますか？若い層はデジタルから入るので、そちらも検討していただきたいです。

A オンラインでの相談については、現在は受け付けておりません。検討中ではありますが、相談員チームからは直接のやり取りの中で相談者から分かることが多い、という話を聞いておりま

す。ただ相談のハードルを下げ、間口を広げるという意味では LINE やメール、オンライン等での初回相談の導入も今後検討していきたいと思います。

【学習・情報機能】

Q 在住者だけでなく、昼間人口である在勤人口へのアプローチ方法について、もう少し考えてほしいです。

A 区民向けと銘打ってはいますが、在住、在勤、在学者であれば優先的に講座を受講できるよう募集を行っています。また、キャリア形成やその先のライフプランを見据え、それにコミットする講座を実施しています。いただいたご意見参考に、より在勤の方にもアプローチを強めていけるような周知の方法を考えていきたいと思います。

Q 出前講座の選定方法について、令和 6 年度は 4 件の実施となっていますが、出前先はランダムですか？それとも依頼が来た先から受けるのでしょうか。

A 区立学校などにまずご連絡し、そこで手が上がらなければ、区内私立中高などにも手を広げて周知を行っています。出前講座は、講座を実施するにあたって初めの軌道に乗せる部分までをお助けするという形ですので、出来るだけ初めて実施するところ優先で実施をしています。

出前講座という形式では年間 3 コマまでと決まっていますが、それ以外にもお声がけいただいた施設・団体等には講師候補をお伝えするなど、協力を行っています。

ご参考までに、これまでの実績としては民生児童委員や区内 8 校 PTA、学校の先生、もちろん中高生に向けても実施をしています。あくまで、自走していくための導入部分として出前講座を捉えてほしいと考えています。

Q 出産を取り巻く環境や社会情勢について、一般に知識が不足していると感じる場面が多く、出産に関連した講座を行ってほしいです。

A 現段階で確約は出来ませんが、次年度講座の企画に取り入れられるよう検討を進めます。

Q 講座のタイトルがキャッチーだと、関心を引くので積極的に取り入れてほしいです。

A スタッフが試行錯誤してタイトルを考えているため、そういったご意見をいただけると大変励みになります。今後も親しみやすいタイトルを打ち出していけるよう、努力を続けていきます。

Q 講座の実施状況をリアルタイムに知りたいです。

A メルマガ、SNS 等を活用して、周知に努めています。まだまだ認知率が低いいため今後さらに周知を拡充していけるように工夫を続けていきます。

Q 在勤者へのアプローチについて、広報千代田、ポスター以外にアプローチが乏しいため、企業向けのアプローチ方法なども検討してほしいです。

A 中小奨励金関連企業への周知や、商工への出前講座を実施した実績はあります。大企業ではなく、中小企業をメインターゲットにアプローチ範囲を広げていければと思います。

Q なぜ働いていると本が読めなくなるのか？の男性参加者は何を見て参加してきているのでしょうか？

A 参加者アンケートを集計中のため、この場でお答えは出来ませんが、後ほど確認いたします。

⇒Q 初参加の方が多いですが、その後のフォローは？ぜひ継続的な参加に繋げてほしいです。何かその後のデータはありますか？

A 現在のアンケートについては、講座が終わった後に任意で回答いただいているもののため、参加者の属性がそれぞれどのようなのか、というのは分かりません。おっしゃる通り、申込時に初めて MIW の講座に参加されるか等、文言を入れてみて、初参加の方の継続参加率の向上に努めていきたいと思っています。

Q 防災について、災害等が起こった際のジェンダーに関する問題について、やはり講座などで取り上げてほしいです。

⇒Q 女性の政治参画に関する講座についても、やはり必要なのではないかと思います。

A 次年度の講座で検討を進めていきます。

3 その他

・次期男女共同参画センターMIW 運営協議会の公募について、現委員のみなさまに周知をさせていただきました。（公募の申し込み期限：3 月 28 日（金）まで）